境港定期船運航図

境港に寄港している定期船のスケジュール

（2026 年 9 月現在）

定期船寄港日・運航船社

月	水	木		金	土	
韓国･中国 高麗海運㈱ （南星海運㈱） ※協調配船	国際フィーダー★ OOCL 井本商運㈱	韓　国 興亜LINE㈱ 長錦商船㈱ ※協調配船	韓　国 高麗海運㈱	日韓フェリー トゥウォン商船㈱ （入港）	韓国･中国 高麗海運㈱ 南星海運㈱ ※協調配船	日韓フェリー トゥウォン商船㈱ （出港）

●釜山トランシップにより、東南アジア・中国各港および欧米等世界各地への接続が可能です。詳しくは各境港代理店までお問い合わせください。
★神戸港経由で台湾や、東南アジア諸国等へ接続。

当会のホームページから、境港定期船運航図の詳細についてご覧いただけます。https://www.sakaiminato-faz.co.jp/

具体的な見積り等についてのお問い合せ先　～通関からお手元までトータルなサービスを提供する地元企業～

企　業　名	業　　務	連　絡　先
NX境港海陸 株式会社 （高麗海運㈱･長錦商船㈱･南星海運㈱･OOCL　境港代理店）	荷役　通関　保管　運送	TEL 0859-44-1652 https://nxsakaiminato-kairiku.com
株式会社 上組 大阪支店 境港出張所 （興亜LINE㈱ 境港代理店）	荷役　通関　保管　運送	TEL 0859-45-8707 https://www.kamigumi.co.jp
イースタンクルーズ&フェリー株式会社 （トゥウォン商船㈱境港代理店）	貨物集荷代理店	TEL 0859-21-9077 https://www.dwship.co.kr/ja
株式会社 ニューウェーブ インターナショナル	貨物集荷代理店	TEL 0859-38-1150 http://www.new-wave-int.jp/
株式会社マブチ 第一事業本部 鳥取工場	輸出梱包　大型貨物梱包 （出張サービス可）	TEL 0859-39-6300 https://www.k-mabuchi.co.jp
ヤマト運輸株式会社 山陰パッキングセンター	輸出梱包　大型梱包　運送	TEL 0859-21-7331 https://www.kuronekoyamato.co.jp

関係機関が相互に連携して、いろいろなご相談に応じます

機　関　名	主　な　業　務	連　絡　先
境港貿易振興会	ポートセールス（利用助成制度）	TEL 0859-47-3905
境港管理組合	港湾施設管理	TEL 0859-42-3705
とっとり国際ビジネスセンター	貿易サポート	TEL 0859-30-3161
（公財）しまね産業振興財団		TEL 0852-22-6193
ジェトロ鳥取貿易情報センター	国際ビジネス情報の 提供･相談･企業支援	TEL 0857-52-4335
ジェトロ島根貿易情報センター		TEL 0852-27-3121

SAKAI PORT TRADE PROMOTION ASSOCIATION

境港ニュース

第120号
（令和8年9月）

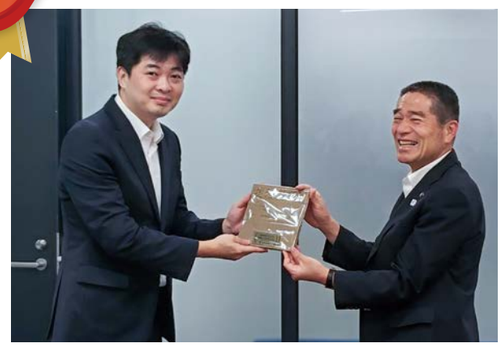
Sakai Port

発行 境港貿易振興会　〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3　TEL（0859）47-3905 / FAX（0859）47-3906
E-mail sptpa@sanmedia.or.jp　URL https://www.sakaiminato-faz.co.jp/

長錦商船が就航15周年を迎えました

就航15周年

●長錦商船株式会社／韓国航路運航船社
～2011年9月就航～



＜㈱シノコー成本 日本総代理店　大阪支店　李世訓　支店長＞

境港には現在、韓国航路、韓国･中国航路の国際定期コンテナ船が運航しており、昨年、高麗海運が就航30周年、興亜LINE（就航時は興亜海運）が就航20周年を迎えました。

このたび、韓国航路を運航している長錦商船が就航15周年を迎え、伊達会長（境港市長）が運航船社を訪問し、長年にわたる安定した運航と良質なサービスの提供により境港の利用促進に大きく寄与された功績に対して感謝の意を伝え、鳥取砂丘の砂を使った記念の盾を贈呈しました。

長錦商船の日本総代理店であるシノコー成本に境港の取扱貨物や港湾環境などについて説明し、これからも安定した継続的なサービスをご提供いただけるよう関係性を深めてきました。

当会としましても、運航船社や関係機関との連携をさらに強化し、境港の優位性を多くの方にアピールするなど、より一層利用促進活動に取り組んで参ります。

境港管理組合　境港内航航路利用支援事業費補助金のご案内　NEW

境港管理組合では、『トラックドライバーの時間外労働規制』や脱炭素化社会に向けた『2050年カーボンニュートラルの実現』などの物流における課題の解消に向け、船舶を利用した海上輸送へのモーダルシフト促進の取り組みを行っており、令和8年7月1日より国内貨物を海上輸送する荷主の支援を行っています。

補助対象期間　**令和8年7月1日～令和8年12月31日までの境港利用日**

補助対象者　**境港の内航コンテナ船を利用して移出入を行う国内に事業所を有する荷主**

補助要件および補助額

事業名	補助要件	1TEUあたり補助額	上限額
① 境港内航新規利用補助事業	内航コンテナ船を利用して新たに移出入を開始する	20,000円	50万円／ 1補助事業者
② 境港内航利用拡大補助事業	これまでの境港利用実績と比べて貨物量が増加する	10,000円	200万円／ 1補助事業者
③ コンテナ内航航路荷主陸送費補助事業	①または②の対象であることに加え、各港湾までの陸上輸送を行う	5,000円（加算）	12万5千円／ 1補助事業者（内航新規利用） 100万円／ 1補助事業者（内航利用拡大）
④ リーファーコンテナ内航利用拡大補助事業	①または②の対象であることに加え、リーファーコンテナを利用する	20,000円（加算）	50万円／ 1補助事業者（内航新規利用） 400万円／ 1補助事業者（内航利用拡大）

境港内航航路利用支援事業費補助金については、下記までお問い合わせください!

境港管理組合　総務課ポートセールス（内貿貨物）担当

TEL：0859-42-3707　email：sakai-port@pref.tottori.lg.jp

この補助金の詳細・様式はこちら▶

大阪会場 境港利用促進 セミナーを開催しました

- 日　時／令和８年７月28日(火) 16:00～19:00
- 場　所／TKP 心斎橋駅前 カンファレンスセンター
- 参加者／約100名

＜あいさつ：伊達会長＞

境港貿易振興会では、多くの方に境港を知っていただくため毎年東京または大阪でセミナーを開催しております。今年は7月28日に大阪市内において3年ぶりに境港利用促進セミナーを開催し、境港を利用している企業からの実例紹介や境港の概況説明などを行い、約100名の方にご参加いただきました。

セミナー冒頭、伊達会長(境港市長)が、国内外の物流・人流の拠点となる境港の取扱い貨物量はコロナ禍以前の水準に回復しつつあり、本年のクルーズ客船は過去最高に迫る60回の寄港予定であることなどを報告。また、本年3月には外港昭和南地区国際物流ターミナルの新規岸壁整備が着工し、今後定期コンテナ航路の増便や定時性の確保、バルク貨物船の大型化に対応することが可能になると説明。「コンテナ航路、国際フィーダー航路、国際定期貨客船という多様な選択肢ときめ細かな港湾サービスを活かし、関係機関一丸となって境港の利便性向上に取り組んでいく」と境港の利用を呼びかけました。

実例紹介では、株式会社アプライズ(韓国航路及び国際フィーダー航路利用)と株式会社島津インターナショナル(韓・中航路利用)の担当者より境港を利用した物流の状況についてご紹介いただきました。

第2部の懇親会にも多くの方がご参加し、名刺交換、情報交換の場としてご活用されました。なお懇親会会場には、山陰を代表する地酒を用意し、皆さまにご堪能いただきました。

参加者からは「実例紹介はイメージがしやすく理解が深まった」、「BCPの観点から物流の見直しについて大変参考になった」、「境港を実際に見学してみたい」といったお声をいただきました。

当会として、直接皆さまにお会いし生の声を聞くことができるセミナーの開催は非常に大切な場であると考えております。

今後も継続したセミナーの開催や積極的なポートセールなど、関係機関と連携した利用促進活動に取り組んで参ります。**国際貿易港"境港"**をこれからもよろしくお願いいたします。

＜セミナーの様子＞

＜地酒コーナー＞

＜懇親会の様子＞

実例紹介

「環境負荷低減トライアル輸送支援事業費補助金を活用した韓国航路及び国際フィーダー航路の利用」

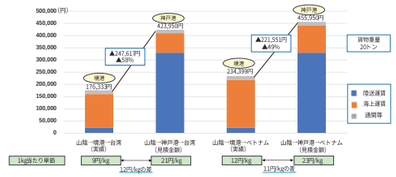
株式会社アプライズ
営業企画部　部長　北澤 英樹 氏

ポイント

- 環境負荷低減のため、山陰地方の取引先から最寄り港を活用したプラスチック素材のベトナム及び台湾向け輸出を検討。
- 助成金を活用し韓国航路を利用したベトナム向け及び国際フィーダー航路を利用した台湾向け輸出のトライアル輸送を実施。神戸港利用と比較してトータルコスト及びCO_2排出量ともに大幅に削減できたため境港利用開始。
- 便数が少なく、またリードタイムの面で課題はあるものの、太平洋側の主要港が利用できなくなった際の代替輸送ルートの確保にも繋がった。
- 今後は最寄り港である境港を利用して新たな仕向け先の開拓などに取り組んでいく。

境港の活用メリット（１）輸送コストの削減

山陰地方のプラスチック素材の場合、神戸港との比較で約5～6割削減



プラスチック素材の単価100円/kgの場合、11～12円のコストダウン → 価格競争力アップ / 利益アップ

境港の活用メリット（２）CO2排出量の削減

日本国内での移動距離短縮による、燃料費、CO_2削減（境港と神戸港との比較）

CO_2削減排出量比較（40フィート、20トンコンテナ１本当たりの概算）

	貨物重量	往復移動距離	排出係数	CO_2排出量
山陰方→境港	20トン	36ｋｍ	0.062 kg CO_2/(t・km)	44.6 kg CO_2/(0.045 t)
山陰方→神戸港	20トン	500ｋｍ	0.062 kg CO_2/(0.045 t)	620.0 kg CO_2/(0.045 t)

93%削減

今後の取り組み

（１）新たな販路の開拓
現状の境港を活用した輸出先：台湾、ベトナム
→台湾、ベトナムでの新たな販売先の開拓
→中国、韓国等、他の地域に拡大

（２）新たな仕入先の開拓
現状の境港を活用した仕入先：限定
→市場ニーズにマッチした仕入先の開拓

（３）輸入の開拓
現状の境港を活用方法：プラスチック素材の輸出
→プラスチック素材、梱包資材の輸入の開拓

資料一部抜粋

「中国航路利用実例紹介」

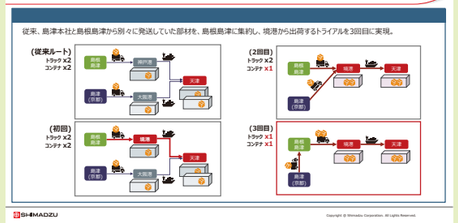
株式会社島津インターナショナル
国際業務部　部長
村端 建司 氏

ポイント

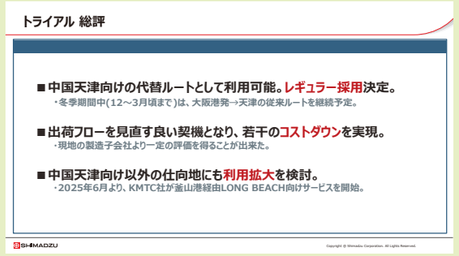
- 南海トラフ地震の被害予測をもとに、天津向け貨物（医療機器製造用部材）の代替輸送ルートとして日本海側の港利用を検討。
- 助成金を活用し島根県津から最も近い境港利用のトライアル輸送を実施。リードタイム、トータルコストとも許容範囲のため境港利用を開始。
- 京都本社の貨物を島根に集約し神戸港利用から境港利用に変更することで、トータルコスト及びCO_2排出量ともに削減ができた。
- 天津向けの境港利用は通常ルートとして利用開始。他地域向けについても代替輸送ルートとして検討していく。

境港利用の決め手

中国航路トライアル 実施概要②



トライアル 総評



資料一部抜粋

サービス案内

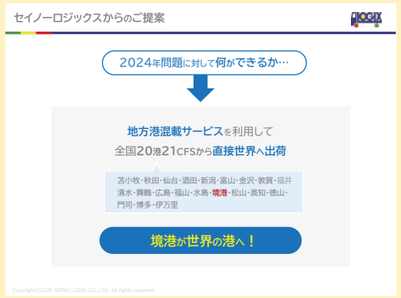
「境港から世界へ」

セイノーロジックス株式会社
Growth Drivers Department　兼
Team Next担当　執行役員
今井 啓裕 氏

ポイント

- 地方港発輸出混載サービスにより、国内20港21CFSから海上混載便で世界中350か所以上に輸出が可能。
- 境港をはじめ最寄りの港から輸送することで国内陸送費とCO_2の削減につながり、地域の国際化や活性化、地球環境にも貢献することができる。
- 2024年問題による輸送力不足や太平洋側での災害時のBCP対策としても最適。

セイノーロジックスからのご提案



主要港CFS倉庫での待ち時間※

CFS倉庫	午前	午後
東　京	30分～3時間	30分～1時間
横　浜	30分～1.5時間	20～30分
名古屋	10～30分	10～30分
神　戸	30分～3時間	30分以内
大　阪	30分～3時間	30分以内

待ち時間が長いとドライバーの走行可能時間がその分減る
境港：待ち時間なし！

資料一部抜粋

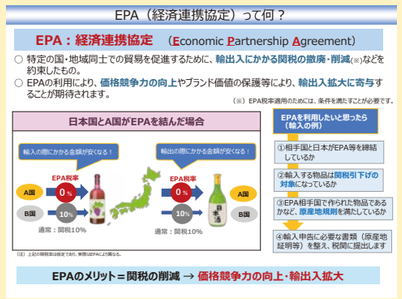
「EPA利活用支援 ―その概要とメリットについて―」

神戸税関　業務部　首席原産地調査官
家島 武宏 氏

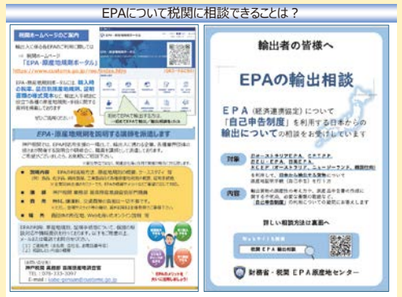
ポイント

- EPA(経済連携協定)とは特定の国・地域同士での貿易を促進するために、輸出入にかかる関税の撤廃・削減などを約束したもの。
- EPAを利用することで、価格競争力の向上やブランド価値の保護等による輸出入の拡大に寄与することが期待される。
- EPAの利用について相談窓口もあるため、税関もしくはEPA関税認定アドバイザーにご相談いただきたい。

EPA（経済連携協定）って何？



EPAについて税関に相談できることは？



資料一部抜粋